



宮城県職員募集2025

森林

業務紹介

◆ 業務の概要

森林職では、県産材の利用拡大など林業・木材産業の振興、森林の整備・保全に関する業務、木材や特用林産物、森林管理技術、優良種苗の安定確保・試験研究などの業務を行っています。

◆ 主な業務

◆ 林業振興課 【本庁】

森林づくり及び林業・木材産業の振興施策の企画立案や、森林の適正な管理・保全を図るための森林計画の策定、森林組合などの林業の担い手の育成確保支援とともに、きのこ等特用林産物の生産振興を図っています。また、CLT等の新たな木製品による県産材の利用拡大や木材流通対策、林業制度金融等を通じた県内木材産業の振興のほか、木材生産や森林管理に必要な林道の整備を行います。



写真：CLTの利用推進



写真：林道の整備

自己紹介①

- ◆ 出身：宮城県（川崎町）
- ◆ 学歴：高校卒業（柴田農林高等学校 森林環境科）
- ◆ 平成29年4月 宮城県入庁

入庁後の異動歴（現在入庁9年目）

H29.4～	仙台地方振興事務所 林業振興部 林業振興班 特用林産物の普及・生産指導や林業労働力担い手育成確保に関すること
R2.4～	気仙沼地方振興事務所 林業振興部 林業振興班 森林整備事業や森林計画業務・森林病虫害防除事業に関すること
R5.4～	水産林政部 林業振興課 林業基盤整備班 林業担い手育成確保業務や林道事業に関すること

自己紹介②

- ◆ 出身：宮城県（川崎町）
- ◆ 学歴：高校卒業（柴田農林高等学校 森林環境科）
- ◆ 平成30年4月 宮城県入庁

入庁後の異動歴（現在入庁8年目）

H30.4～	北部地方振興事務所栗原地域事務所 林業振興部 林業振興班 森林整備事業や森林計画業務・森林病虫害防除事業に関すること
R2.6	北部保健福祉事務所栗原地域事務所兼務
R3.4～	気仙沼地方振興事務所 林業振興部 森林整備班 治山・林道事業に関すること
R6.4～	水産林政部 林業振興課 林業基盤整備班 林道事業に関すること

志望動機①

◆ なぜ公務員？

自分の持っている知識を生かしつつ多くの人の役に立てる仕事だと思い公務員を選択しました。

◆ なぜ宮城県庁？

林業に興味があり、地元宮城県の林業を盛り上げる仕事に携わりたいと考え、宮城県庁を選択しました。

志望動機②

◆ なぜ公務員？

高校で学んでいた林業に関係した業務に就きたいと考えていたところに、担任の先生から公務員を薦められたことがきっかけです。

◆ なぜ宮城県庁？

高校の授業の中で事務所の県職員から講義、説明を受けて、林業の普及関係の仕事をしたいと感じたためです。

これまでに担当した業務の紹介①

仙台地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

H29.4～R2.3 （3年間）

◆特用林産物の普及・生産指導や林業労働力確保に関すること

- ・特用林産物生産者に対する生産指導や販売会やイベント開催などの普及PR
- ・出荷制限解除のための生産者指導
- ・林業事業体への担い手確保育成支援

気仙沼地方振興事務所 林業振興部 林業振興班

R2.4～R5.3 （3年間）

◆森林整備事業や森林計画業務・森林病虫害防除事業に関すること

- ・森林経営計画の作成指導
- ・森林整備を行う森林組合や林業事業体への指導
- ・害虫による森林への被害拡大防止

これまでに担当した業務の紹介②

北部地方振興事務所栗原地域事務所 林業振興部 林業振興班

H30.4～R3.3 （3年間）

◆森林計画業務・森林病虫害防除事業に関すること

- ・森林経営計画の作成指導
- ・森林情報の現況訂正
- ・害虫による森林への被害拡大防止



気仙沼地方振興事務所 林業振興部 森林整備班

R3.4～R6.3 （3年間）

◆治山・林道事業に関すること

- ・海岸防災林や治山工事の監督業務
- ・工事実施のための関係者との調整
- ・自然災害により被災した林道の災害復旧事業



現在の担当業務の紹介①

R5.4～ 水産林政部 林業振興課 林業基盤整備班

◆林業担い手確保育成に係る業務

- ・林業事業体の指導、公表、登録
- ・就業環境向上等のための補助金の交付事務
- ・担い手確保育成関係の研修会等委託事務



現在の担当業務の紹介②

R6.4～ 水産林政部 林業振興課 林業基盤整備班

◆林道関係業務

- ・橋梁の個別施設計画や点検診断業務の事務
- ・林道災害の調査から復旧までの対応
- ・林道事業要望箇所の調査 等々



入庁前のイメージとのギャップ

◆ 入庁前のイメージ

- デスクワークや事務作業が多そう。
- 知らない単語が多そう。



◆ 入庁してみたら・・・

- 勤務地によって異なるが、出先機関だと外に出る機会も多い。
- 入庁後すぐや担当業務が変わるたびに知らない単語がでてくるが、先輩職員や上司に教えてもらいながら覚えた。



仕事をする上で心がけていること

- ◆ 明るく、元気に受け答えすること。

仕事を進める上で、コミュニケーションは重要。

- ◆ 悩みや疑問が生じた場合は、同僚や上司に相談したり、情報共有をこまめに行うこと。

抱え込んでしまった方が後々の処理が大変。

仕事は個人ではなく、チームプレーという環境が整っています。

- ◆ 自分なりの根拠を持つこと

仕事を進める上で不明点があった際に、何でこうなったの？と聞き返された際に何も答えられないかつ、自分の考えが間違っていた場合はこの考え方ではだめだと外の業務にも繋がられます。

印象に残っている業務①

◆特用林産物の普及PR業務

原木しいたけの出荷制限解除手続きを迅速に行ったことで、発生したしいたけを無駄にすることなく出荷することができ、生産者の皆さんからとても喜んでいただけたことや、原木しいたけの植菌体験をイベントで実施した際に、老若男女問わず参加いただいた方々に喜んでもらえたことが印象に残っています。



印象に残っている業務②

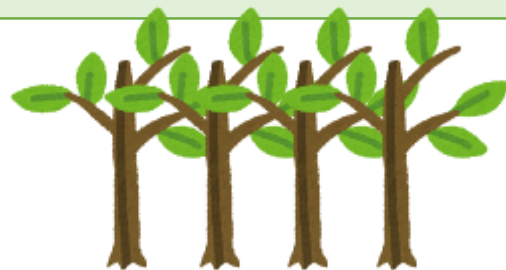
◆東日本大震災の震災復興工事

気仙沼地方振興事務所に勤務していたときに、平成23年の地震により発生した津波で流された「海岸防災林」の復旧工事を引き継ぎました。そこでは森林土木工事ではあまりない水道管工事を担当し、普段行わない設計書の作成や関係各所との調整を行い、いい経験になりました。



森林職の魅力、やりがい

森林職は、森林整備や森林土木、きのこや県産木材の普及振興、緑化や野生生物など、業務の幅が広く、様々な方面で活躍できるのが魅力だと感じています。県内の市町村、企業、地域住民の方と密接に関わる機会が数多くあり、携わった方々から感謝の言葉をいただいたときは、とてもやりがいを感じます。



職場の雰囲気

- ◆ 森林職で入ると基本的には森林関係の業務部署の配属となるため顔見知りが増え、仕事がやりやすくなっていきます。
- ◆ いままで勤めてきた職場は、会話が多く明るい雰囲気職場だと思っています。
- ◆ 困ったことやわからないことなど、気軽に相談できる先輩職員がたくさんいます。

私の公務員試験対策

- ◆ 専門試験では、森林科学の教科書を繰り返し復習したほか、林野庁で発行している森林・林業白書を読むことで、近年の森林・林業情勢についても勉強しました。
(白書は林野庁のホームページで公開されています)
- ◆ 教養試験では、過去に出題された問題を解き、わからないところは先生に確認するなどして試験に望みました。
- ◆ 面接対策は担任の先生や生徒指導の先生にお願いして本番に臨みました。

先輩職員からのメッセージ

- ◆ 森林職は森林の造成から維持管理、木材・特用林産物、治山工事、野生動物など、自然に対し幅広く携わることができ、とてもやりがいのある仕事です。
- ◆ 宮城県職員として、皆さんと一緒に働ける日を心待ちにしています！